

調川駅長の冥福を祈る

旧国鉄松浦線の調川駅長であった故丸山七郎さんの慰霊祭が4月6日、称頌碑^{しょうしゅう}前で執り行われました。

昭和18年4月5日、貨物列車の脱線事故の復旧作業をしていた丸山さんは、軍の灯火管制に背き、明かりを灯して作業を完遂。翌朝丸山さんは責任を負い、自ら出発合図を出した機関車に飛び込み亡くなりました。その死を悼み昭和20年5月、調川駅近くの丘に碑が建立されました。今年の慰霊祭では、丸山さんの親族から生前の写真も提供され、参列者は碑の前で平和への誓いを新たにしました。



戦没者の霊を慰める

春の戦没者慰霊祭が市内各地で執り行われました。青島地区の慰霊祭は4月4日、殉国の碑前で行われ、参列者が21人の戦没者へ哀悼の意をささげ、平和を願いました。

松浦市連合遺族会の八谷健司会長は、「大戦が収束し75年の歳月を迎え、わが国は目覚ましい復興と発展を遂げた。大戦で学んだ貴重な教訓を風化させることなく、平和の大切さや戦争の悲惨さを語り継ぎ、世界平和の実現に尽力していかなければならない」と慰霊の言葉を述べました。



稚アユ5万尾を放流

稚アユの放流が4月15日、志佐川で行われました。この放流は、志佐川の水産資源維持を目的として市が1988年から毎年実施しており、今回が33回目。毎年体験学習として参加している上志佐小学生の児童は、コロナウィルスの影響で参加できませんでしたが、地域住民と市職員が協力してバケツリレーを行い、体調7割ほどの稚アユ5万尾を放流しました。

稚アユは、順調に育てばアユ漁が解禁される6月には、約20割まで成長する見込みで、今年も多くの特長を楽しませてくれそうです。



防犯グッズで注意喚起

松浦地区防犯協会御厨星鹿支部（内野伸一支部長）が4月13日、御厨中学校全生徒143人へ反射材付きのリストバンドを贈呈しました。

同支部は、生徒の登下校中の交通事故を防止したいと松浦警察署に協力を依頼。今回、防犯チラシとともに、リストバンドを生徒代表に手渡しました。

内野支部長は、「前年度から寄贈を検討し、ようやく実現できました。中学生には特に交通安全はもちろんのこと、犯罪に巻き込まれないよう注意してほしいです」と話していました。





いつまでもお元気で！！祝 100 歳



吉村 イチさん（調川・松山田）

大正9年3月17日生まれ。

家業の農業に携わりながら、5人の子どもに恵まれました。花を植えること、御詠歌を唱えることが趣味です。



内野 キワ子さん（志佐・赤木）

大正9年4月6日生まれ。

志佐町・池成で出生。農家に嫁ぎ、4人の子どもを育て上げました。ご家族は、働き者で、厳しく温かい人だと話されていました。



4月から7月は「健康づくりチャレンジ期間」です！ 年に1回は健診を受けましょう

す
こ
う
け
ん
や
か

問 健康ほけん課健康推進係 ☎内線 129、168

松浦市では、生活習慣病の予防と早期発見のために、年に1回は特定健診を受けることを推奨しています。しかし、特定健診の受診率は、平成30年度で42.8%と近隣市町と比べると低い状況です。

健診を受けない理由として、「忙しくて時間がない」「今は体調もいいから受けない」「自分で体の管理はできている」「病院にかかっているから健診は受けない」などのお話をよく聞きます。

健診を受けずに病気の発見が遅れると、治療のために時間やお金がかかります。食事や運動など普段から心掛けている人も、目に見えない体の中の状況までは把握できないものです。また、生活習慣病等の治療中の人も特定健診の対象となっているため、受診をおすすめしています。

国保特定健診受診率（平成30年）

松浦市	平戸市	佐々町	佐世保市
42.8%	55.3%	55.9%	35.9%

※新型コロナウイルス感染症の影響により、日程の延期または中止の可能性があります。
その際は、改めてご案内します。